<p>【小中一貫】 ○9年間で育てたい児童・生徒像 「自己の良さを知り、それを活かす人」 ・小6体験授業（3回） ・合唱コンクール合唱練習見学 ・児童会・生徒会の交流 はちおうじっ子サミットに向けた取り組み 挨拶運動 ・小中合同引き渡し訓練 ・小中一貫教育の日（3回）</p>	<p>【学習】 全生徒の学力を自己の目標に到達させる ○個に応じた学習と個別最適な学びの充実 ・英語スピーキング学習教材（3年）（EnglishCentral）の活用・全国学力調査（3年）・八王子市学力定着度調査 ・はちおうじっ子ミニマム（全学年 5月 1、2年12月） ・ICT機器の活用 ○主体的・対話的で深い学びの充実(思考・判断・表現) ・少人数による話し合い活動 ・他者との対話を通じて自分の考えを広げ、理解を深める ・ICT機器を活用した学習の推進</p>	<p>【生活】 安心・安全で生徒が生き生きと活躍できる ○自律的な活動の充実 ・生徒会活動の活性化 ※生徒会役員会を中心とした各委員会を活用した組織的な活動の推進 ・生徒総会・生徒会選挙・専門委員会、中央委員会 ○「みそあじは運動」の推進 ○生徒指導の三機能を基盤にする。（行事を活用する） 三機能 ⇒ 自己存在感、共存共生、自己決定</p>
<p>【地域連携】 ○学校運営協議会の開催 ○青少対 ・3回のクリーン活動・防災体験（3学期に実施予定） ・生徒会の協力（広報活動） ○ふれあいプロジェクト ・花づくりの会・和太鼓の会・空手同好会 ○その他 ・地域行事への参加（旧児童館行事等） ・職場体験の依頼（2年 職場体験 9/25～9/27）</p>	<p>【教育目標の達成】 ○教育目標 「自ら学び工夫し 思いやりの心を持ち 体を鍛える生徒」 ○重点目標 自ら学び工夫し何事に対してもうのみにせず、自分事として考え、行動していく。 ○重点目標達成のキーワード 対話 尊重 創造</p> <div style="text-align: center;"> <p>目指す生徒像 → 自ら学び工夫する生徒 思いやりの心を持つ生徒 体を鍛える生徒</p> </div>	<p>○自ら学び工夫する生徒 ・学習に意欲的に取り組むとともに、主体的に考え、他者との対話を通して考えを深めたり、学んだことを積極的に実生活に生かそうとする。 ・学年・学級活動や学校行事、生徒会活動、部活動、地域活動などを通して自らの力・集団のとしての力を高め、コミュニケーションを大切に、工夫・創造・協働しながらよりよく行動する。 ○思いやりの心を持つ生徒 いじめを許さず、自他の命を尊重し、他者の立場に立って物事を考えたり、行動できたりする。 ○体を鍛える生徒 ・自分の健康や体力、生活習慣に関心をもち、向上を目指して行動できる。</p>
<p>【心の教育】 自他の命を尊重し他者の対場に立つ ・道徳教育 重点「思いやり・感謝」「相互理解・寛容」 「公正・公平・社会主義」⇒ 考え、議論する道徳 ・人権教室 ・命の学習 ・救命救急講習・福祉体験 ・いじめ総合対策(年3回いじめ調査を行い、いじめの早期発見、早期対応を行う。) ○不登校対策（別室支援） 別室（輪室）と学級とのつながり 和室での活動の多様化 学習、生活体験、物づくり マイタイムスケジュール（活動時間・活動内容）の作成 特別支援校内委員会での情報共有、対応策検討</p>	<p>【特別支援教育】 ・特別支援教室・特別支援学級と通常学級との連携 特別支援教室で行っている学習形態を通常学級でも行う（個に応じた学習と個別最適な学び） ・校内ルール、慣例の見直し （特別な支援が必要な生徒を特別にしない） ・週1回 特別支援校内委員会の実施</p>	<p>【教員研修】 ○授業力向上（個に応じた指導法の工夫・改善） ・ICT機器の有効活用 学習ソフトの利用法 ○少人数の話し合い活動の充実 ○いじめ対応研修・不登校対応研修・特別支援研修 【週時数27時間への対応】 ・月曜6校時 生徒が自由に活動できる時間 部活動,委員会活動,補充教室 ・水曜5, 6校時 教員の活動を中心に いじめ対策委員会 職員会議 職員研修 生徒と教員の面談</p>